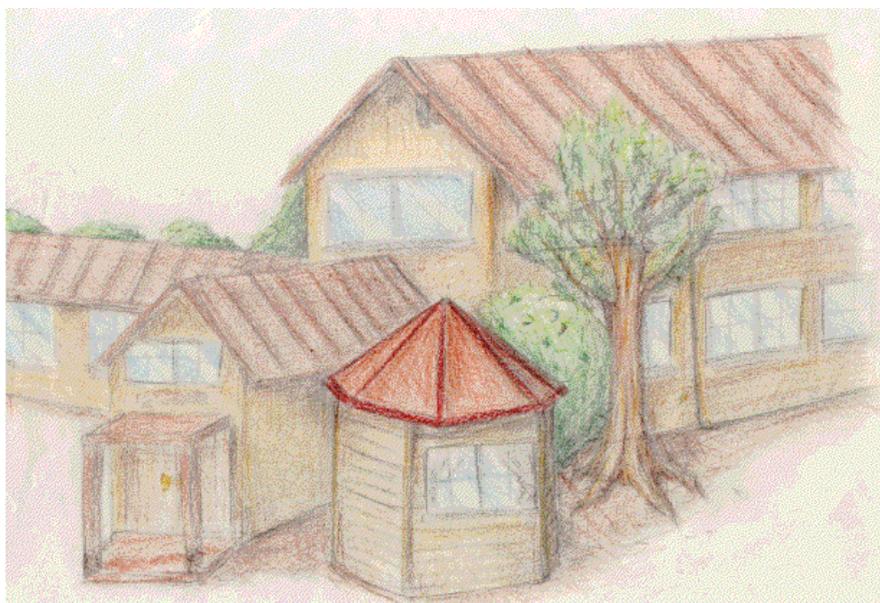


向陽高校演劇部校外公演

見よ、飛行機の高く飛べるを

作 永井 愛



日時 2009年 5月 5日 (火)

午後 3:30 開場

午後 4:00 開演

場所 和歌山県立県民文化会館 小ホール

(和歌山市小松原通り1丁目1番地 和歌山県庁正門前)

●はじめに

たくさんの方の協力と応援を頂いて、自主公演が出来ますことを、部員一同嬉しく思います。

私たち向陽高校演劇部は、コメディタッチな要素を含んだ作品など、にぎやかな劇を多くやってきました。しかし今回上演する「見よ、飛行機の高く飛べるを」は、今までにはない静かな作品です。私たちにこの作品でお客さんに何かを伝えられるのだろうか？この作品の空気感が出せるのだろうか？というような懸念がありました。でも台本を読み込むうち、揺れる登場人物の心情が、より鮮明に感じられるようになりました。

この作品に取り組んで来たこれまでの4ヶ月間、自分の思っている事を上手く伝えられなくてイライラしたり、思い通りに出来なくて嫌になったり。自分だけ仲間にはいていない気がして泣いてしまったり。

また、活動場所の地学教室は、辛うじて劇の練習が出来るくらいのスペースしかありません。でも裏方の仕事（大道具・小道具づくり、衣装やカーテンなどの裁縫、音響探しや編集、照明プランづくり……など）もしなくてははいけません。そこで、裏方さん(キャストと掛け持ちも多いですが)は違う教室に移動したり、ロッカーの間でやったり、セットに隠れながら作業していました。すると、見える範囲にいないので、「作業してないんじゃないか」なんて疑ってしまうことも。別々の作業をしていることで、寂しさを感じたり、一人で作業していることに虚しさを感じたりもしました。

しかしその中で、みんながそれぞれ劇の為に作業を進めていること、たまに立ち稽古メンバーの会話に入って一緒に笑っていたこと、話し合いのときは駆けつけてくれたこと……これが分かった時は、“同じ作業をしていなくても、一緒に一つの劇をつくっている”と実感出来ました。

本番では、それまでの出来事一つひとつに意味があったと自信の持てる、舞台をつくりたいです。

見よ、飛行機の高く飛べるを……。

演出

歌 智美

●作品紹介

時は明治44年。大逆事件が起こり、青踏が発刊された。封建的で男尊女卑の世の中。時あたかも日露戦争後、富国強兵策のあおりを受け、国あげて良妻賢母教育が広まっていた。

物語は愛知県岡崎の山中の女子師範学校の寄宿舎で幕をあげる。優等生で人気者の光島延ぶと新しい女の時代を夢見る杉坂初江。二人は仲間とともに秘密の回覧雑誌を出そうとする。そんな折り、仲間の一人の退学処分。彼女らはその処分の撤回と良妻賢母教育反対を掲げストライキをしようと立ち上がった・・・。

閉塞した状況下にあってそれぞれの想いを胸に自由や幸せを求めて歩いていく。そんな彼女達の青春グラフィティ。

主人公の杉坂初江は故市川房枝女史がモデルとなっているそうです。

●作者 永井愛について

劇作家・演出家。二兎社主宰。桐朋学園大学短期大学部演劇専攻科卒。

「言葉」や「習慣」「ジェンダー」「家族」「町」など、身近な場や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した、ライブ感覚あふれる劇作を続けています。

『時の物置』が英国ブッシュシアターで、『萩家の三姉妹』が米国ジャパン・ソサエティで英語によってリーディング上演されるなど、日本の演劇界を代表する劇作家の一人として海外でも注目を集めています。2007年秋には米国ミネアポリスのプレイライツ・センターなどが主催した「日米劇作家・戯曲交流プロジェクト」で『片づけたい女たち』が取り上げられ、リーディング上演されました。また、韓国で行われた『こんにちは、母さん』ドラマリーディングにも立ち会いました。

引用：二兎社うえぶ <http://www.nitoshia.net/index.htm>

●顧問挨拶

昨年の暮れ、この「見よ、飛行機の高く飛べるを」を読んだ。10年以上も前に発行されていたのに読んでいなかったことを悔やんだ。何としても上演したいと思った。明治の女学生達の澆刺とした自由奔放さに圧倒された。今では考えられない程不自由で制約だらけの世の中にあって彼女達の息づかいが聞こえた。明治の女子師範学校生と現代の女子高生、100年もの隔たりがあるが、異性に対する興味・関心の深さに変わらない。裏切りに対する心の重荷も共通するものだろう。でも何かが違う。目下彼らは明治の女学生の心に迫るべく、自らの心の奥底に聞き耳を立てている。

2時間30分もの大作だが、現演劇部なら上演可能と判断した。

顧問 梅田 昌吾

Cast

光島延ぶ・・・保田知里 (3)
 杉坂初江・・・中井 萌 (3)
 大槻マツ・・・川口真由 (3)
 山森ちか・・・川口早紀 (3)
 木暮婦美・・・尾崎 萌 (2)
 新庄洋一郎・・・辻本 馨 (3)
 安達貞子・・・和田美紀子 (3)
 菅沼くら・・・黒川なみ (2)
 中村英助・・・井堰康貴 (2)
 青田作治・・・加藤亮吏 (3)
 難波泰造・・・岸 和希 (3)
 板谷わと・・・児玉視蒨 (3)
 板谷順吉・・・格清雄介 (3)
 梅津仰子・・・福田美咲 (2)
 石塚セキ・・・田中祐美 (3)
 北川操・・・・・・歌 智美 (3)
 松尾百代・・・・前亜里紗 (3)

Staff

演出・・・・・・歌 智美 (3)
 助演出・・・福田美咲 (2)
 舞台監督・・・岡崎 彩 (2)
 音響・・・・・・岸田奈緒 (3)
 　　　　　　　　　芳野 薫 (1)
 　　　　　　　　　山田亜寿紗 (1)
 　　　　　　　　　嶋田翔大 (1)
 照明・・・・・・岡崎 彩 (2)
 　　　　　　　　　池島千尋 (1)
 　　　　　　　　　得津三枝 (1)
 　　　　　　　　　土井優香 (1)
 衣装・・・・・・児玉視蒨 (3)
 小道具・・・・加藤亮吏 (3)
 大道具・・・・井堰康貴 (2)
 アナウンス・嶋田翔大 (1)
 　　　　　　　　　山田亜寿紗 (1)
 サポート・・・吉野莉奈 (2)
 　　　　　　　　　津山知沙歩 (1)

<p>児玉視蒨 みろ</p> <p>一つ一つの作業を完璧にこなす、まさに“職人”。バミテも裁縫も、彼女あってこそです。そして、発言する時は常に的確なことを言ってくれます。また、“顔芸の女王”の異名を持ちます。(川ちゃん)</p>	<p>岡崎彩 つっきー</p> <p>聞き上手で、落ち着きを放ったハニカミ少女。ハニカミの裏に、自分の限界まで人に頼らない強さが。腹筋などの基礎トレも与えられた仕事も一見クールにこなすが、彼女の頑張りは図り知れず。(とんちゃん)</p>	<p>田中祐美(副部長) ぱっつん、ぱっちゃん</p> <p>明るく優しく皆に好かれてい、足が長い素敵な子♪武器は書道。劇中で使われる大道具の質実剛健を書いたのもぱっちゃん。その腕は新聞に記載されるほど。演劇部が世界に誇る驚異の足長少女。(びろし)</p>
<p>尾崎萌 えすびー</p> <p>演劇部有数の意地っ張り。天敵は乳酸菌。運動が好きで、気づけば筋トレしてる。食前に運動をすると気持ちが悪くなるが、敢えて昼ご飯の買い出しは走っていくのがいらいしい。(しゃこ)</p>	<p>黒川なみ わなげ、はなちゃん</p> <p>パンダが大好きで飄々とした、人気者のかわいこちゃんと言えはわなげその人である笑 かわいこちゃん故に、あだ名をもじられ鼻毛と呼ばれてしまうのも宿命と言うべきなのか。笑(やっぼ)</p>	<p>前亜里紗 ありさん</p> <p>メガネが光る3年生。(※劇中ではメガネじゃないです)人のこと素直に褒めてくれるところがステキ。 時々名言をはなったり……最近のは「平塚チューリップ」(もこ)</p>

<p>池島 千尋 酒子・しゃこ 中学校演劇部から引き続いて入部 努力家で、周りの事によく気が付く人 背筋100回が日課で、今は150回にも挑戦中 ちなみに、あだ名の由来は、保護者→ゴシャ→コシャ→シャコ (かとうー)</p>	<p>福田美咲 りーだー、ひとで 親父ギャグや意外な視点など、いつも自分自身の不思議ワールドが全開な彼女。 最初は近寄りがたく思うひとも多いかもしれませんが、そんな彼女を眺めてみるといろいろと発見があるものです。 (おもに)</p>	<p>岸和希(部長) みのる、きっぴー 個性豊かな演劇部員をまとめる部長が彼です、みのるです。 とにかく動きが不思議。体が柔らかいのかな？ 見ていて飽きません☆ あだ名は飼っている猫の名前が由来だとか^^ (ありさん)</p>
<p>加藤亮吏(会計) かとうー 身体は小さいが俊敏さならだれにも負けない!…しかし、キャパシティを超えた動きをして怪我をするときがあるのがたまにきず。更に、繊細な業を可能にする器用さをも兼ね備えた人である!! (ジブリ)</p>	<p>中井萌 めぐちゃん、めぐさん 爽やかな人に敏感!と言えばめぐちゃん☆語る時は、乙女っぷりを見せてくれます!乙女だけれど、たまに驚く程キャラが変わ…る(笑) うまいトークでみんなを引き込む才能あり☆地元貴志川を愛する女の子です。 (ぱっちゃん)</p>	<p>芳野薫 おもに おもにです。世界が嫉妬する髪です。おもにです。 登校する彼女の姿は下山している山男を連想させます。 おもにです。 「おもに」という言葉にはどこかの国で「母」という意味があるそうですよ。 (みのる)</p>
<p>和田 美紀子 によき によきは後輩である私から見ると“頼りになるお姉さん”という感じです。裏方の仕事で分からないことがあるといつも優しく教えてくれます。裏方が好きな私にとっては目標となる先輩です!! (つつきー)</p>	<p>川口早紀(副部長) いなみ ケチャップ いたずらっ子顔☆おちゃめな3年生です。時に毒舌、頼れる副部長さん。実家は印南町、遠くから遙々やって来ます。遠いのに遅刻はしないぜ。そういうとこ大好きだぜ。 (わなげ)</p>	<p>歌智美 とんちゃん とんちゃんは基礎トレ(筋トレとか)がめっちゃ綺麗☆やる気やら根気なんて言葉はきっととんちゃんの為に存在すると思う!! とんちゃんの食べる物はみんな美味しそうに見えるマジックを所有* (SP)</p>
<p>保田知里 やっぱ、やすだ 素直で寂しがり屋の野良猫 努力家で役への執着は人一倍!普段はクール&ドライに見せてるけど、好きになったものにはとことんこだわる。本番直後の(私の)過剰なスキンシップを自然に受け入れてくれる人。 (めぐちゃん)</p>	<p>井堰康貴 まんだ 元氣と素直と(他を超越する)素敵なテンションで毎日を乗りきる16歳です。抜群のプロポーションが彼の密かな自慢(笑)←演劇部内では愛すべきいじられキャラの一人でもありますw (ケチャップ)</p>	<p>格清雄介(大道具裏番長) びろし 音楽、笑い、そして演劇にはキビシイです(^_^) 自分のことにいつも責任とプライドを持ってて、頼れる存在。 そのくせやたらと変態変人@▽@ 楽しいやつです★ (によき)</p>

<p>岸田 奈緒 なすていぶ なすび なすていぶです。 「なす仔」とも呼ばれますが、梅田先生には「なすび」と呼ばれます。理由は、「その方がおいしそう」だから(笑)紫色が大好きです！ テーマカラーは紫！それがなすていぶ！！(まんた)</p>	<p>吉野莉奈 もこ おっちょこちょいなところ多しですが、最近はとてもしっかりしてきています。それと、なぜか私のことをよく褒めてくれます。なにか裏がありそうで怖いです。(みろ)</p>	<p>辻本馨 ジブリ I LOVE POWER!努力という言葉が大好きなお方です。向上心は誰にも負けないでしょう。一見温和でおとなしそうに見えますが、いつも明るく、声も大きく、顔芸がすばらしい部内のムードメーカーです。(ひとで)</p>
<p>川口 真由 川ちゃん ロリータさん、V系バンドが好きなお洒落な女のコ。可愛いのに気取らなくて、ちょっと無理してでも頑張っちゃう女前☆ 泣いていると慰めてくれたりしちゃう聞き上手な一面も…！ (なすび)</p>	<p>嶋田翔大 ジェット 雰囲気ジェットっぽいという理由で決まったこのあだ名。今回はアナウンスを担当してくれています。ポソポソと声が聞こえてきてぱっと横を見るとジェットがよく近くにいたりします笑。謎につつまれている不思議キャラで今後が楽しみだな♪(ぱつつん)</p>	<p>山田亜寿紗 あずず、ずー、さいちゅう 未だにあだ名がハッキリ決まっていない彼女。 “さいちゅう”はモナカが好きだからという理由♪ アナウンス担当です☆ ポ〜っとした天然キャラかと思いきや、恋愛経験が豊富みたいで恋愛の話になるとキャラが変わります。 (ぱつつん)</p>
<p>津山知沙歩 いもこ 今日は城フェスに参加している為にサポートにまわってくれています☆ 最初は“ちーちゃん”という可愛いあだ名でしたが、いつの間にか“いもこ”というあだ名に笑 みんなから「いも、いも」と言われて毎日怒る大きな声が聞こえてきます。ちなみに「こいも」はいみみたい…笑(ぱつつん)</p>	<p>得津三枝 オアフ 部員の誰かが彼女のTシャツを見て発見した単語… 「OAHU」そのTシャツに彼女のあだ名は由来する。中学時代は演劇部で高校では違う部にしようと考えていたそうですが… HPや舞台装置を見て演劇部に入ってくれました。昔、愛媛県にいた事もあって愛媛訛りが残っています★ (ぱつつん)</p>	<p>土井優香 ぱびー 本人いわく、慣れてくるとテンションが高くなるらしいですが…まだ慣れてないからかすごく落ち着いている女の子。 ジャニーズの嵐が好きみたいですよ☆ カップヌードルBIGサイズが安くても自分の胃袋を考え、普通のサイズを買うという冷静な判断が出来ます。(ぱつつん)</p>
<p>梅田昌吾 梅田君、梅ちゃん 永遠に33才(自称)、我らが顧問梅田君！演劇部の笑いのツボです☆好きな物は飛行機だとか…★とても照れ屋で、奥さんの話になると…(笑)ナイスキャラで皆から愛されています☆ (ぱつつん)</p>	<p>遠藤元彦 ひこにゃん 移動は自転車。車の免許なし！本人は笑顔と真顔から為る。でも周りには自然と笑顔が。手を振ったり、挨拶すると喜んだり、少年のよう。ミーティングの連絡はいつも決まって“特になし！”(とんちゃん)</p>	

STAFF MEMORY

○大道具

・まんととびろしがカッターでベニヤ板を雑談しながら切っていた。すると突然悲鳴が。なんと二人とも指を切っていた。

・「階段」は梅田くん設計、男子部員+梅田くん制作。「壊したら体重公表」。

・ステンドグラスは3度のマイナーチェンジを経て完成に至ったぜ!

最初色が全然違ってイマイチやった

↓全部張替えた

先生にうすいって言われた

↓濃い色に張替えた

まだうすいって言われた

↓重ね張り

うーん

“ステンドグラスは傑作です☆”

○衣装

・今回の縫い物で、ミシン糸を4巻使った!

・完成品

ちょうちんブルマー、カーテン、のれん、箱馬・ベンチカバー

・制作期間

箱馬・ベンチカバー…一週間 のれん…3日 カーテン…2日

○音響

・歓声や合唱などの声は部員みんなで録りました。

・声援を録ってたとき本当に運動会な感じがした

・なすちゃんがジェスチャーで『もっと!』ってやるだけで皆が盛り上がっていった手のひとつりで大勢が動く、凄い面白い手応え(?)があった(笑)

○照明

・体育館がなくて、実際に照明をつけて試せないなので想像力をフルに使った。

・夕焼けや青空など、今まで以上に気をつけて見るようになった。

・照明の資料がギリギリまでできなくて、つっきーに迷惑をかけてしまいました(>_<)

つっきー、いつもありがとう、次はうちが頑張るね、(・∀・)ノ

○小道具

・小道具が多く、管理や渡す手順など苦労した。

・作業場がなく、ロッカーの間に電灯と机を持ち出して作業をした。

・段ボールで作っていた手燭(夜の手元明かり)、ベニヤ板で作直すことに。

ベニヤ板との格闘で心が折れそうに。様々な工夫を重ね、なんとか作り上げた。

○演出

・「Yes, We Can!」演出が零したボヤキに、いつの間にやら部員総勢でミーティングに。その時に部長がプレゼントした言葉です。

・「女子部員断髪禁止令」この劇の為に女子部員に出されました。

○ダンス

・長:みのる率いるメンバーぱっちゃん、なすちゃん、かとうーの4人で制作☆

最終的にボツされました…。でも「可愛い」と大絶賛でした(^o^)

●演劇部紹介

我が校演劇部は、仲間づくりを第一の目標としています。先輩から受け継がれている事をいくつか挙げてみます。

○挨拶

演劇部の始まりは『おはようございます!』という挨拶です。

演劇部の誰かと会った時も『おはようございます!』と元気よく挨拶します。ちなみに帰る時の挨拶は『おつかれさまでした!』です。

○筋力トレーニング

上演している1時間以上もの間、『全員が舞台に立っている』という気持ちを持っています。その為、演劇部は文化部ですが体力が必要となります。

腹筋・背筋・腕立て伏せなどの基礎トレーニングも欠かせません。基礎トレーニングをする時も、『人に見せる』という意識を忘れずに取り組んでいます。

○先輩・後輩の関係

部内ではあだ名で呼び合うという決まりがあります。

普段は、同じ年齢の人と会話するように話すという事を心がけています。理由は演技するにあたって、先輩・後輩を意識しすぎると上下関係が逆転した場合にやりにくいという事態が起こるからです。

先輩に対する話し方を見た人は、敬意が感じられないと思うかもしれませんが『先輩からは様々な事を教えてもらおう・後輩はそれを受け継いでいく』という気持ちは忘れません。

演劇をつくる上で大切な事を顧問は言いました。

「『台本に書かれた会話が現実の会話であるかのようになる』その瞬間が観客もリアリティーを感じる時であり、それが芝居の醍醐味である。一言で表現するならば、『響きあう』かな。」

我々演劇部員は、『観る人に感動を与えられる劇をつくる』という気持ちも忘れずに部活動に取り組んでいます。

一に挨拶 二に元気 三・四がなくて 五に笑顔